
目 次

1. 概要	1
2. 仕様	2
3. 各部の名称とその動作	3
4. 本体内部の名称	4
5. 本体接続機器の説明 (TL-01 TL-05 TL-12)	5
6. 動作説明 (概略・システム)	6
7. 動作順序	7～8
8. フローチャート	9～10
9. 取付工事	
9-1 工事の手順	11
9-2 機器取付図	11
9-3 接続端子説明	12
9-4 接続方法 (TM-119E-N TL-01 TL-05 TL-12)	13
9-5 工事完了後の検査	14
10. 装着方法	15
11. 設定メニュー項目	16～17
12. 自己メンテナンス機能	18
13. 基本入力操作	19～23
14. 通報試験	
14-1 疑似回線で行う場合	24
14-2 本回線で行う場合	25
15. 操作方法・点検方法	26
16. 点検要領	27～28
17. 承認図	巻末

1. 概要

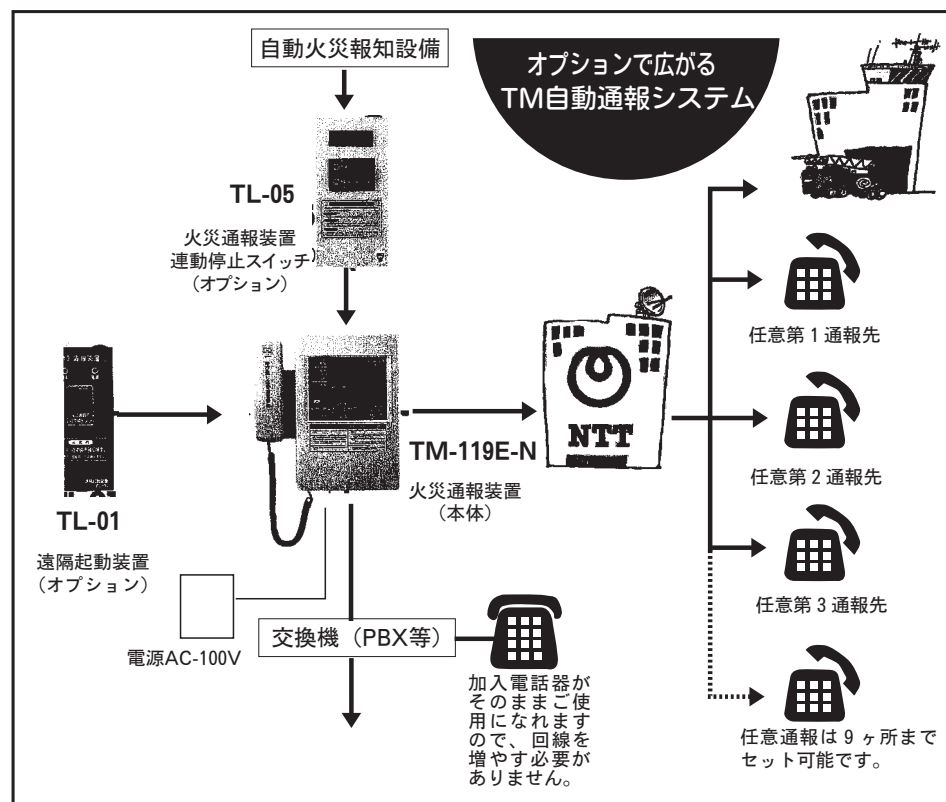
機器名：TM-119E-N

本機（TM-119E-N）は緊急時、「自火報」からの入力、もしくは「手動起動装置」を押す事により一般電話回線を通して所轄の消防署及びあらかじめ登録させた緊急連絡先（任意通報先）へ自動通報を行う装置です。

119番通報先には火災の発生場所、物件名等あらかじめ登録した情報を音声にて伝えます。

又、任意通報時は、本体内蔵の集音マイクが作動しますので現場の状況を適確に把握する事が出来ます。

システム図



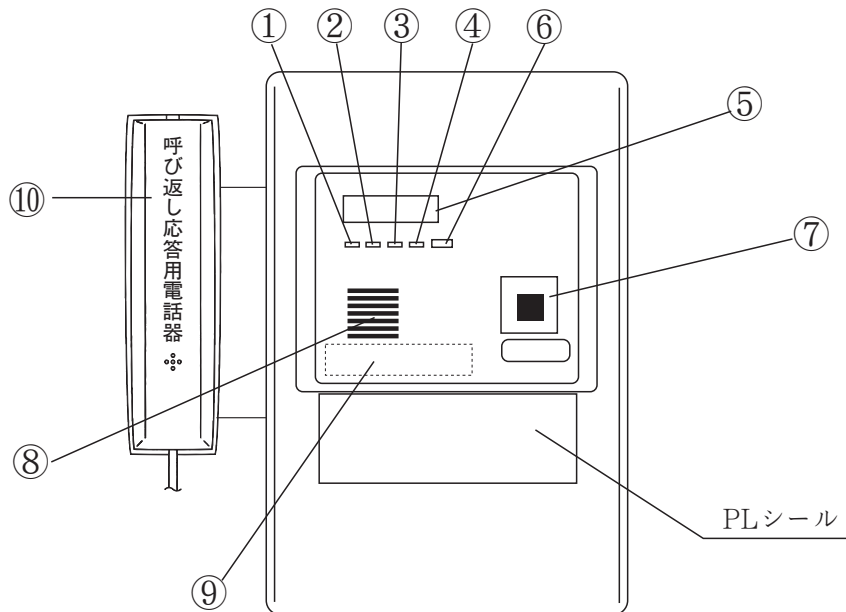
2. 仕 様

項 目	仕 様
適 用 回 線	ダイヤル……10PPS又は、20PPSのダイヤルパルス 一般加入電話回線 押しボタン……押しボタンダイヤル信号
通 報 先 記 憶 数	119番も含めて最大10ヶ所
通 報 順 序	119番→任意第一→任意第二→任意第三→……任意第九
119番への 蓄 積 音 声 情 報	(ア) 手動起動装置（非常押しボタン）の操作により作動した場合。 「ピピピ、ピピピ、火事です、火事です。こちらは、…の…です。 逆信願います。」 (イ) 自動火災報知設備の作動と連動して自動的に作動した場合。 「ピンポーン、ピンポーン、自動火災報知設備が作動しました。 こちらは、…の…です。逆信願います。」
ユ ー ザ ー 別 通 報 メ ッ セ ー ジ	最大20秒、固定式
通 報 モ ニ タ	本機内蔵スピーカーにより通報メッセージのモニタが可能
外 部 入 力	遠隔起動装置（無電圧メーク接点） 自動火災報知設備の受信機移報端子（無電圧メーク接点）
使 用 環 境 条 件	温度 0～40℃ 湿度 20～90%
常 用 電 源	A C 100V±10V 50Hz/60Hz 消費電力:待機時2.1w 動作時3.6w
予 備 電 源	ニッケル・カドミニウム蓄電池 12V 500mAh 〔監視状態で60分経過後、10分間以上の動作が可〕
本 体 寸 法 ・ 重 量	高さ：330mm、幅：300mm、奥行：70mm、重量：3.1kg
定 期 点 検 条 件	別紙にて点検方法を記載
情 報 の 送 出	常に冒頭から始まります。
再 呼 び 出 し 機 能	通報先の消防機関が通話中の場合は自動的に再度呼び出しします。
強 制 割 込 み 機 能	発報の際その電話回線が使用中であった場合は、強制的に発信可能の 状態になります。
通 報 者 と 通 話 機 能	一区切りの蓄積音声情報が終了後、直ちに（5秒以内）呼返しスイッ チを操作（119番側）し、呼返し信号（75V 16Hz）を送出すれば通報 者と通話することができます。

※自動火災報知設備と連動し、火災情報を通報中において、手動起動装置を操作された場合は1メッセージ送出後、直ちに手動起動装置の操作による火災情報を通報します。

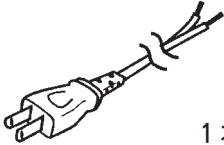
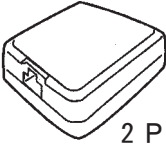
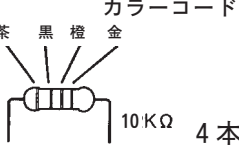
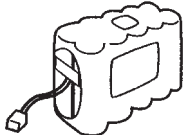
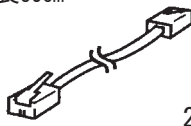

※蓄積音声情報送出中において、送受話器を取り上げるにより通話が可能となります。
（最初の蓄積音声情報送出中は、蓄積音声情報が優先となっていますので、送受話器による会話は出来ません。
その後は、送受話器が優先となります。…送受話器の誤操作防止の為です。）

3. 各部の名称とその動作

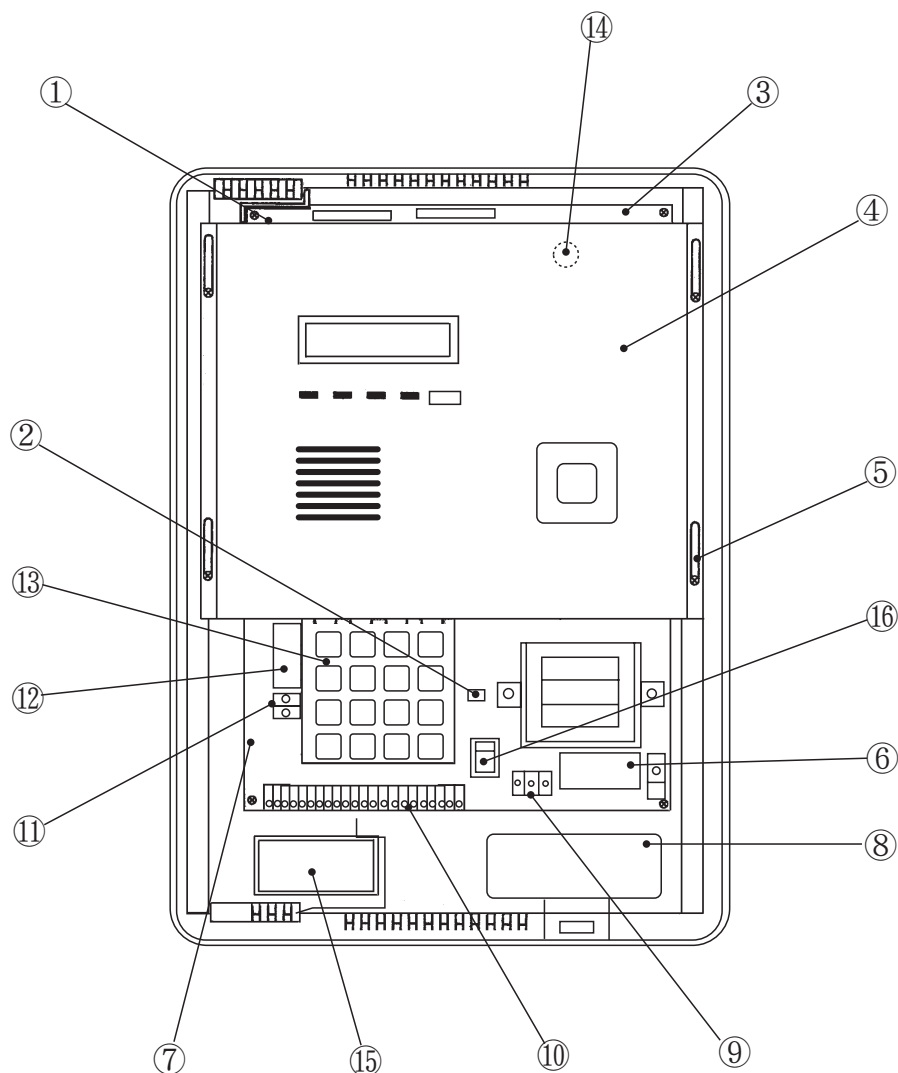


	名 称	起 動 内 容
1	電源表示ランプ	電源投入時、待機時点灯。停電時（予備電源使用時）点滅。
2	異常表示ランプ	異常時点滅。待機時消灯。
3	起動表示ランプ	起動時点滅。全動作完了時点灯。（リセットスイッチにて消灯）待機時消灯
4	通報表示ランプ	メッセージ送出時点滅。119番通報終了時点灯。待機時消灯。
5	表示器（液晶）	任意通報先・異常内容の表示・確認
6	リセットスイッチ	動作解除スイッチ。（動作終了後は必ずリセットスイッチにて待機状態にします）
7	起動押しボタン	緊急時の起動用ボタン。（保護板を押し破ります。）
8	スピーカ	音声メッセージのモニター及び交互通話用スピーカ。
9	各注意事項の説明	簡単な操作方法と注意事項の説明。
10	呼び返し応答用電話器	119番からの呼び返し応答用（逆信）に使用。 （端末機器の技術基準適合認定を受けた製品です）

付属品一覧

電源コード	 1本	通信コネクタ	 2P 2個	終端器	 カラーコード 茶 黒 橙 金 10KΩ 4本
予備電源	 1個	プラグ付コードモジュラー	全長60cm  2本	取付ビス	 3本

4. 本体内部の名称



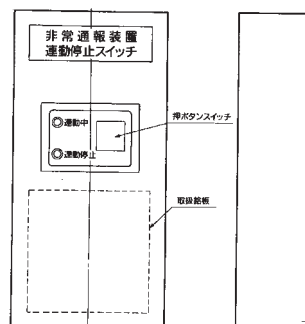
1	NCU基板	9	端子台 (AC100 [V] アース)
2	予備電源用コネクタ	10	端子台 (信号入力、移報出力)
3	ユーザーメッセージ用ロムパック	11	端子台 (増設用電話器)
4	パネル	12	モジュージャック
5	パネル取付ビス (4本)	13	設定用スイッチ (16キー)(メンブレンスイッチ)
6	ノイズフィルター	14	保護板固定ネジ
7	主基板	15	通線孔
8	予備電源 12 [V] 500 [mAh]	16	電源スイッチ

5. 本体接続機器の説明 (TL-05、TL-01、TL-12)

TL-05 (連動停止スイッチ箱)

自動火災報知設備 (自火報) と TM-119E-N を連動させる場合その切り換えスイッチとして使用します。

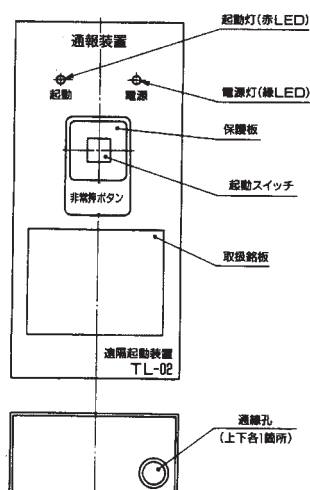
自火報のメンテナンス時には押しボタンスイッチで連動停止にします。



TL-01 (遠隔起動装置)

TM-119E-N 本体の起動スイッチだけでなく離れた場所からの起動を可能にする装置です。起動をかけるとブザーとLEDにて表示します。

(起動スイッチ及びGND 端子は必ず送り配線をし終端には終端器 (10K Ω) を接続して下さい。)

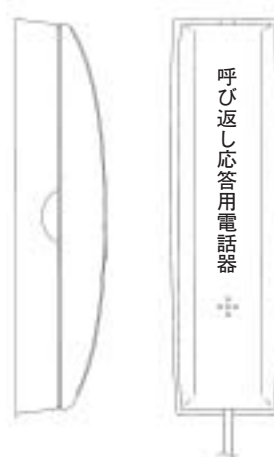


TL-12 (呼び返し応答用電話器)

119番からの逆信をTM-119E-N 本体の電話器以外に別の場所でも受けられるようにした電話器です。

(増設は2台迄)

(TL-01 と隣接する場合には TL-01 内のモジュージャック又は、端子を利用する事が出来ます。)



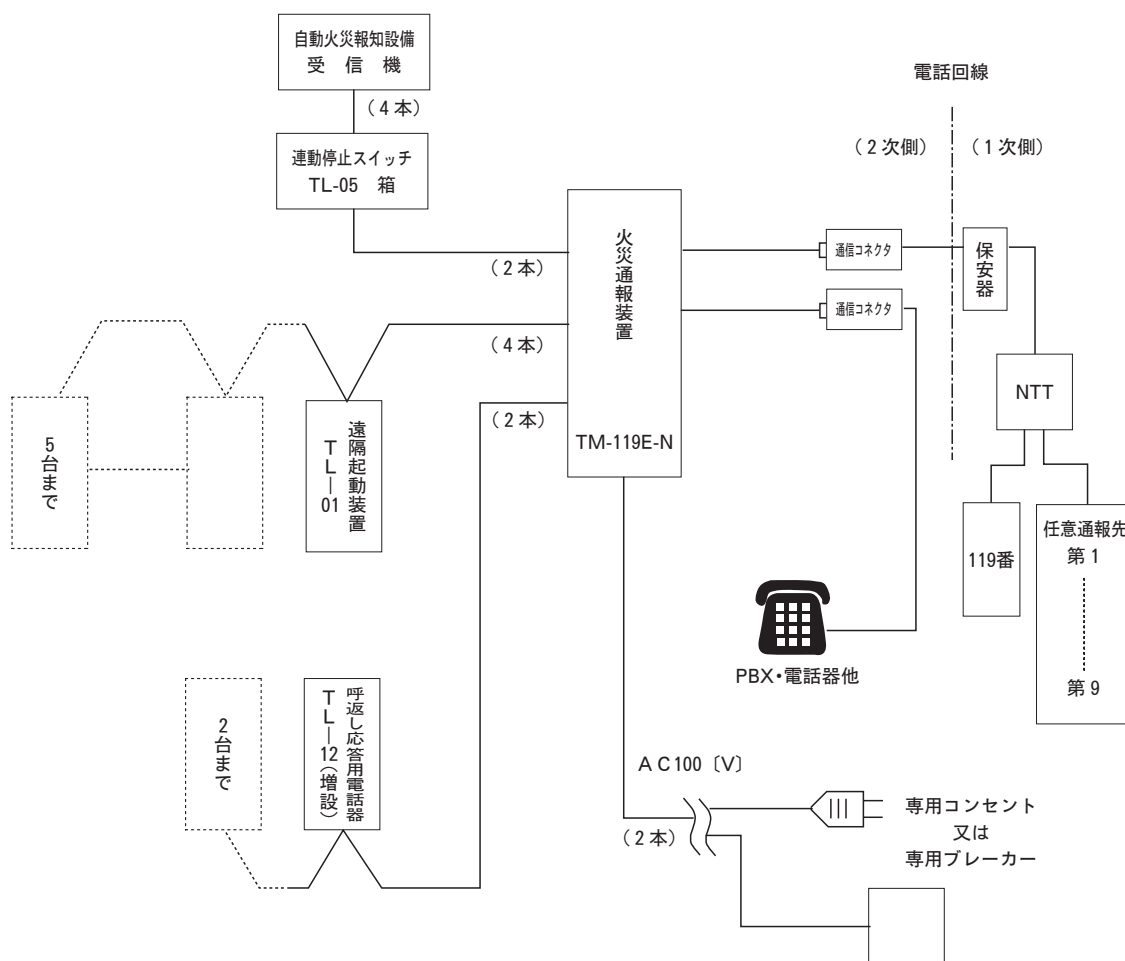
6. 動作説明

概 略

本機（TM-119E-N）は緊急時、手動起動装置又は、遠隔起動装置が押された場合、及び自動火災報知設置から火災信号が出された時、一般電話回線を通して所轄の119番及びあらかじめ登録された緊急連絡先（任意通報先）へ自動通報を行う装置です。

又遠隔起動装置、自動火災報知設備等、外部からの入力信号線の断線を常時監視すると共に、2週間に一度自動的にバックアップ用蓄電池の容量をチェックし、容量不足の場合は異常表示をする機能を備えています。

システム構成図



7. 動作順序 (動作の概略と各表示ランプの状態)

電 異 起 通

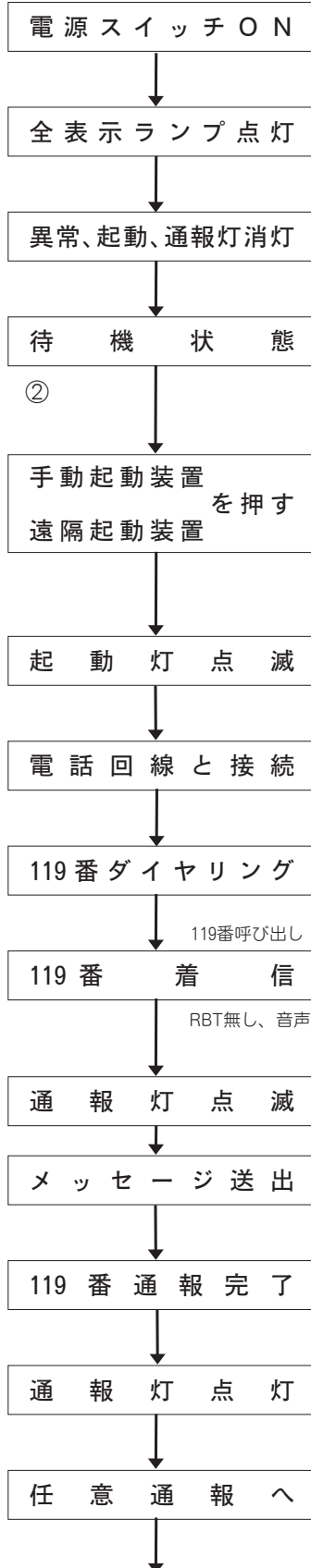
源 常 動 報



火災発生！



《119番通報》



LED表示例



} 0.5秒

緑色「電源灯」だけが点灯しています。AC電源が切れ、予備電源に切替わると点滅に変わります。

0.2秒以上押して下さい。
(ノイズ等による誤動作を避ける為です。)

音声メッセージ
「火事です。」

他の電話器を使用している場合でも強制的に回路を切り捕捉します。

ダイヤルトーン (DT) 検出後、約1.5秒でダイヤリングスタート

119番が話中の場合には、約10秒後再ダイヤルします。

「ピッピッピッ、ピッピッピ、火事です、火事です。こちらは……です。逆信願います。」

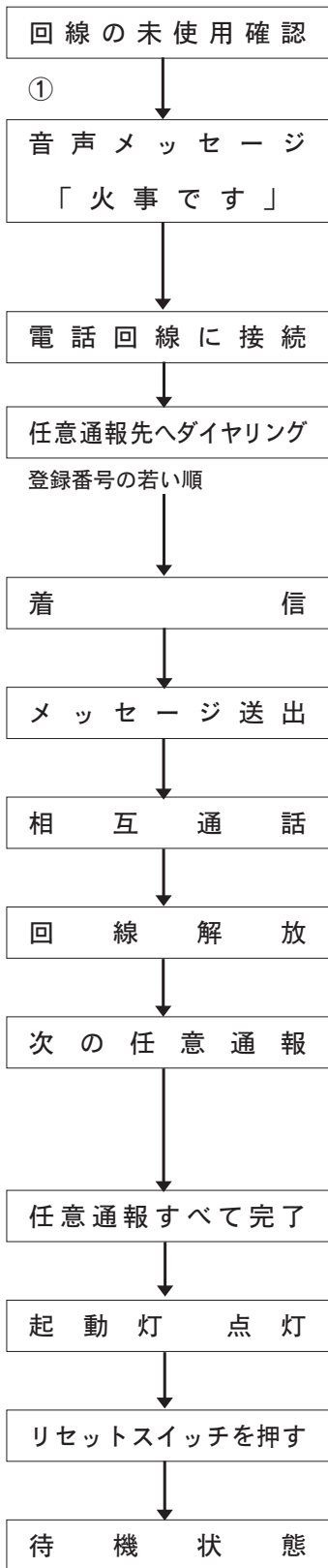
呼び返し信号受信、又は呼び返し応答用電話器で10 [秒] 以上会話した後、双方の電話器をもとにもどすことにより通報完了となります。

ダイヤルトーン (DT) …受話器を上げた時のツーツー音
リングバックトーン (RBT) …呼び出し中のルルル音

電 異 起 通
源 常 動 報



《任意通報》



(②へもどります。)

LED表示例

- … 点灯
- ◀▶ … 点滅
- … 消灯

ダイヤルトーン (DT) 検出後、約1.5秒でダイヤリングスタート (呼び出し40秒及び話中の場合、次の通話先へダイヤリングする為、①へもどります。)

(極性反転)

「ピッピッピッ、ピッピッピ、火事です、火事です。こちらは……の……です。」

受話 5秒
送話 5秒

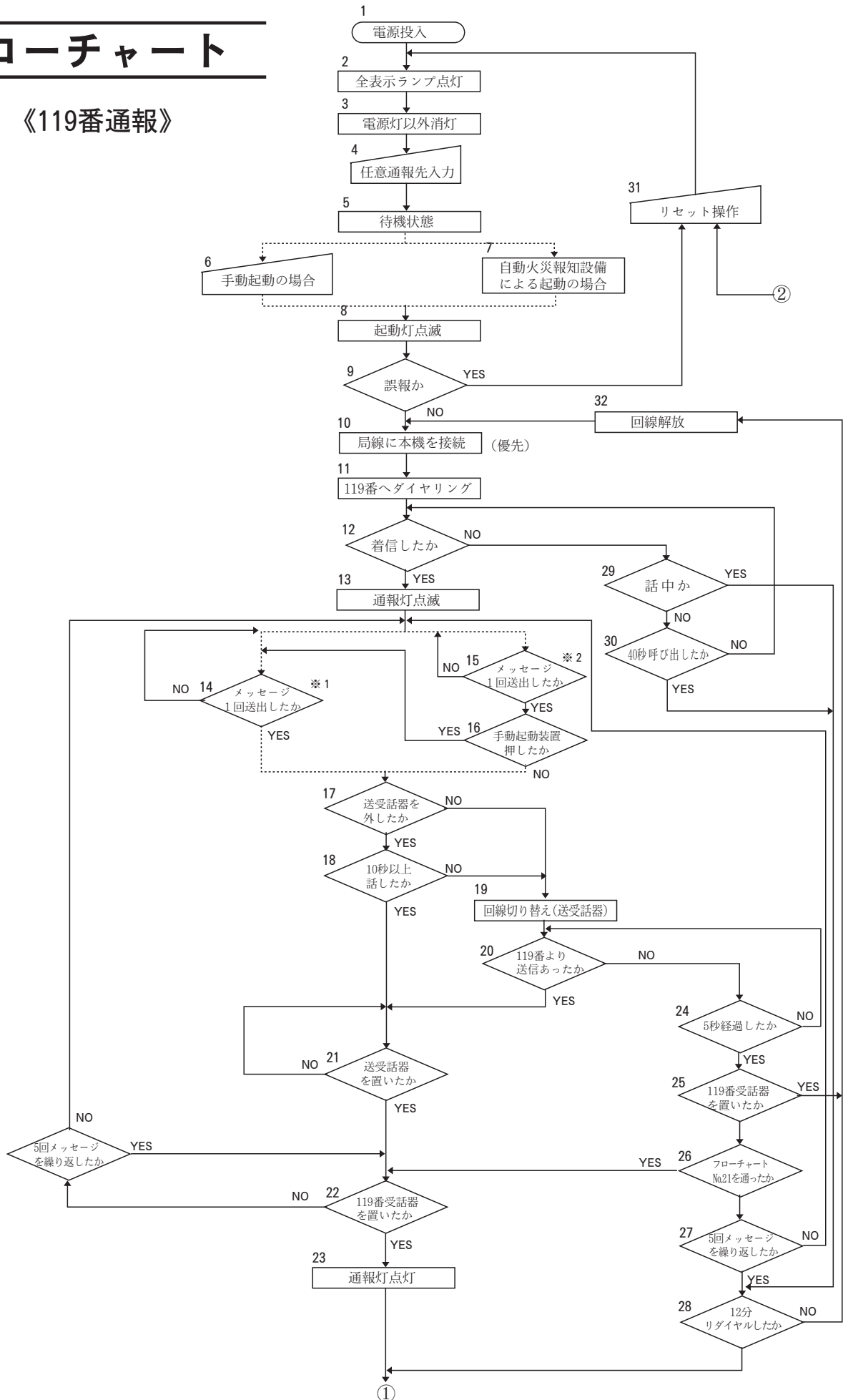
(①へもどります。)

途中で話中又は、留守の場合、一巡した後、着信するまでくり返しダイヤリングします。

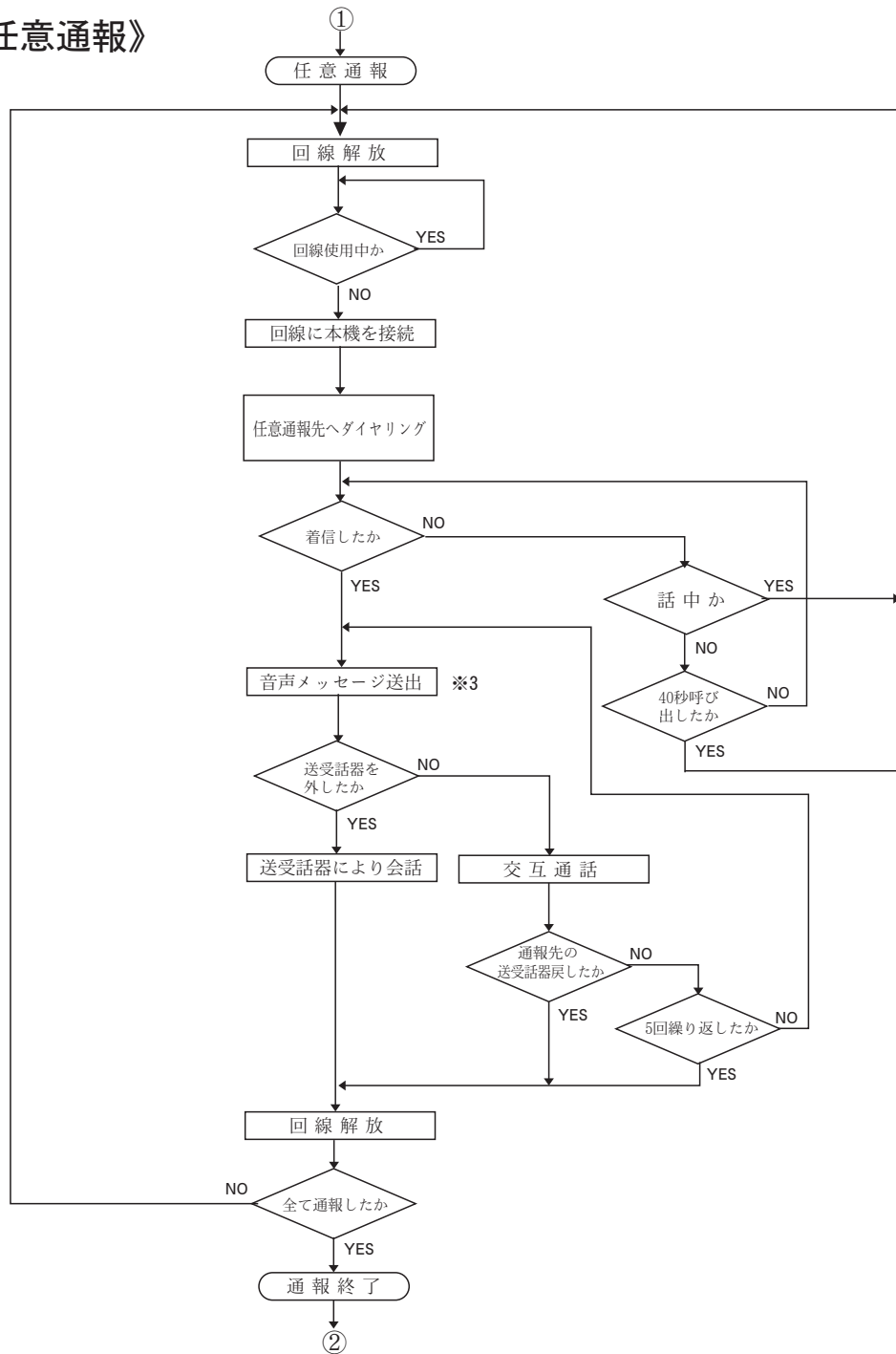
自動火災報知設備と連動した場合も、同様な動作をします。(メッセージは自火報用になります。)
詳細は9,10ページのフローチャートを参考にしてください。

8. フローチャート

《119番通報》



《任意通報》



●メッセージの内容

(※1) ピ、ピ、ピ ピ、ピ、ピ「火事です。火事です。」「こちらは……………です。」
「逆信願います。」

(※2) ピンポン、ピンポン「自動火災報知設備が作動しました。」「こちらは……………です。」
「逆信願います。」

(※3) ※1、※2のどちらかのメッセージが流れます。(「逆信願います。」のメッセージは流れません。)

119番通報時、逆信を受けた後のメッセージは(※1)(※2)と同様ですが、「逆信願います。」のメッセージは流れません。

注意

自動火災報知設備による起動の場合、119番と回線接続中に手動起動されると、メッセージは手動起動のメッセージ(※1)に変わります。又、任意通報中に手動起動されると、119番に再ダイヤルし、手動起動の動作をします。

9. 取付工事

9-1 【工事の手順】

- ① 本機設置 ●本器はアナログ回線専用です。デジタル回線には接続できません。
- ② 配線工事（回線、AC電源、TL-01、TL-05、TL-12）
注） 1. 電話回線の工事は工事担当者が行って下さい。
注） 2. 緊急の装置ですので、AC電源は専用のコンセント又は、ブレーカーより引き込んで下さい。
(雷サージ等、外乱ノイズから保護するため、必ずアースをとって下さい。)
- ③ ユーザー別通報メッセージのROMバック挿入
- ④ バッテリー接続及びAC100V投入
- ⑤ 設定項目の入力
- ⑥ 通報試験
注) 絶縁抵抗を測定する時には、必ずアース（FG端子）を浮かして下さい。

注意 取付けにあたり次の様な所への設置は絶対に避けて下さい。

- ① 直射日光・暖房設備等により温度が上昇する場所
- ② 窓際・玄関・製氷倉庫等、温度が著しく下がる場所
- ③ 湿度が高く、結露の恐れがある場所
- ④ 強い衝撃及び振動の加わる場所
- ⑤ 塵・鉄粉・有毒ガス・腐食性ガス等を発生する場所
- ⑥ 水や薬品のかかる恐れのある場所
- ⑦ 大型の設備機器等・特に大きなノイズの影響を受ける恐れがある場所

9-2 【機器取付図】

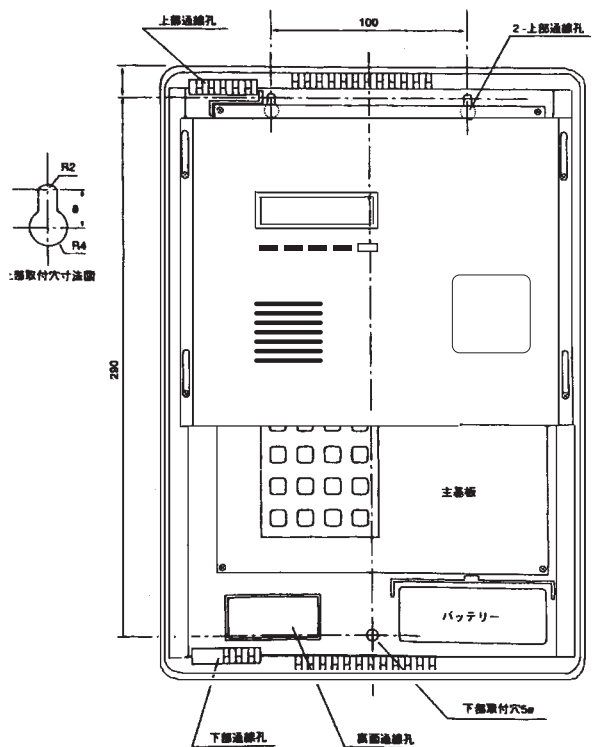
■ TM-119E-Nの取付

- ※ 1. カバーの外し方
カバーの凹部に⊖ドライバー又はコインをさし込みこじ開けて下さい。
- ※ 2. 本体の取付方法
上部2箇所、下部中央部1箇所の穴を利用して付属のビスで壁面に取付けて下さい。

■ 通信コネクタの取付

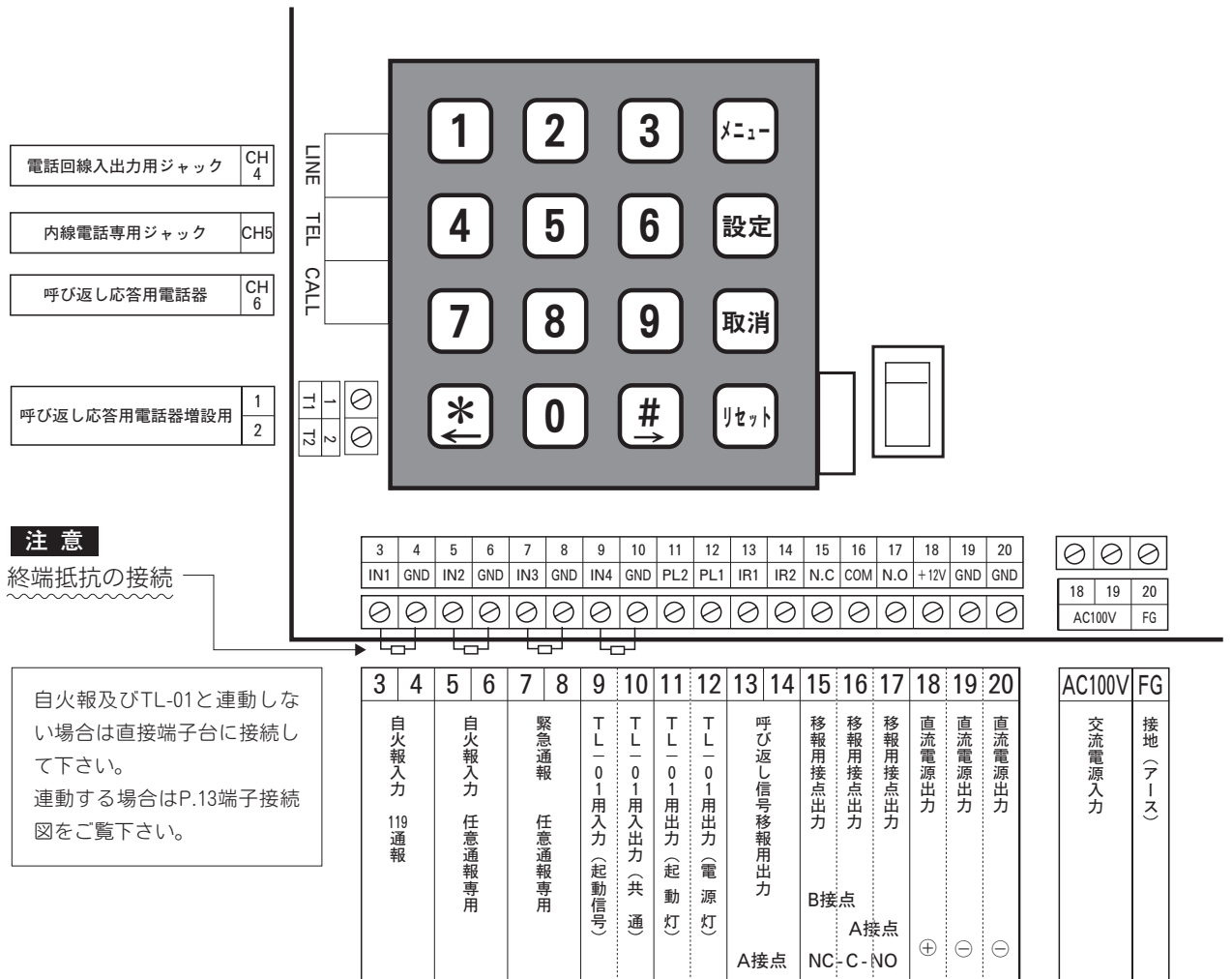
電話回線との接続は容易に切換えができる様、必ず通信コネクタ（付属品）を経由することが必要です。（点検時に試験器を接続するため）

通信コネクタのカバーをドライバー⊖でこじあげ、付属のビス2本で、本体の近くに取付けて下さい。（専用接続コード（モジュラープラグ付コード）で本体と接続するため、本体上部通線孔から約30cm以内の所に取付けて下さい。）



9-3 【接続端子説明】

上蓋を開けるとプリント基板（主基板）の下部に外線接続用端子、及び電話回線接続用モジュラージャックが並んでいます。各端子の用途を下記に示します。



■モジュラージャック

- CH4……電話回線入出力用ジャック
- CH5……内線電話専用ジャック
- CH6……呼び返し応答用電話器接続用ジャック

■端子台

- 1,2……呼び返し応答用電話器の増設用ジャックです。2台まで増設することができます。
- 3,4……自火報連動時の入力端子です。(連動停止スイッチ箱と接続)
- 5,6……任意通報専用の自火報連動入力端子です。119番には通報しません。
- 7,8……緊急通報用入力端子です。任意通報専用
- 9,10,11,12……遠隔起動装置 (TL-01) の接続端子です。(起動信号、起動灯、電源灯)
- 13, 14……呼び返し信号の移報出力です。(119番からの逆信号と連動)
- 15,16,17……起動移報用出力端子です。(15,16 : B接点 16,17 : A接点)
 何れも無電圧接点で、電流容量はDC30V、1Aです。
- 18,19 (20) 直流電源出力端子です。12Vを常時出力していますので移報出力を介して使用して下さい。(電流容量、0.1A) 18 (+)、19,20 (-)

■AC入力端子

- 交流入力、AC100〔V〕を入力する端子です。FG端子は、アース(設置)して下さい。

9-4 【接続方法】 (TM-119E-N, TL-01, TL-05, TL-12)

システム構成図、取付寸法図、端子説明、及び下図接続例を参考にし、下記①～④の順に接続して下さい。

① 保安器と通信コネクタ及び、通信コネクタと、内線電話器の配線

交換機が接続されている場合には、交換機の一次側と二次側が判別しにくいことがありますので注意して下さい。

② 通信コネクタと本体 (TM-119E-N) の接続

モジュラープラグ付コード (付属品) で通信コネクタと本体のモジュラージャックCH4、5を接続 (挿し込む) して下さい。

③ 商用電源 (AC100 [V]) の配線

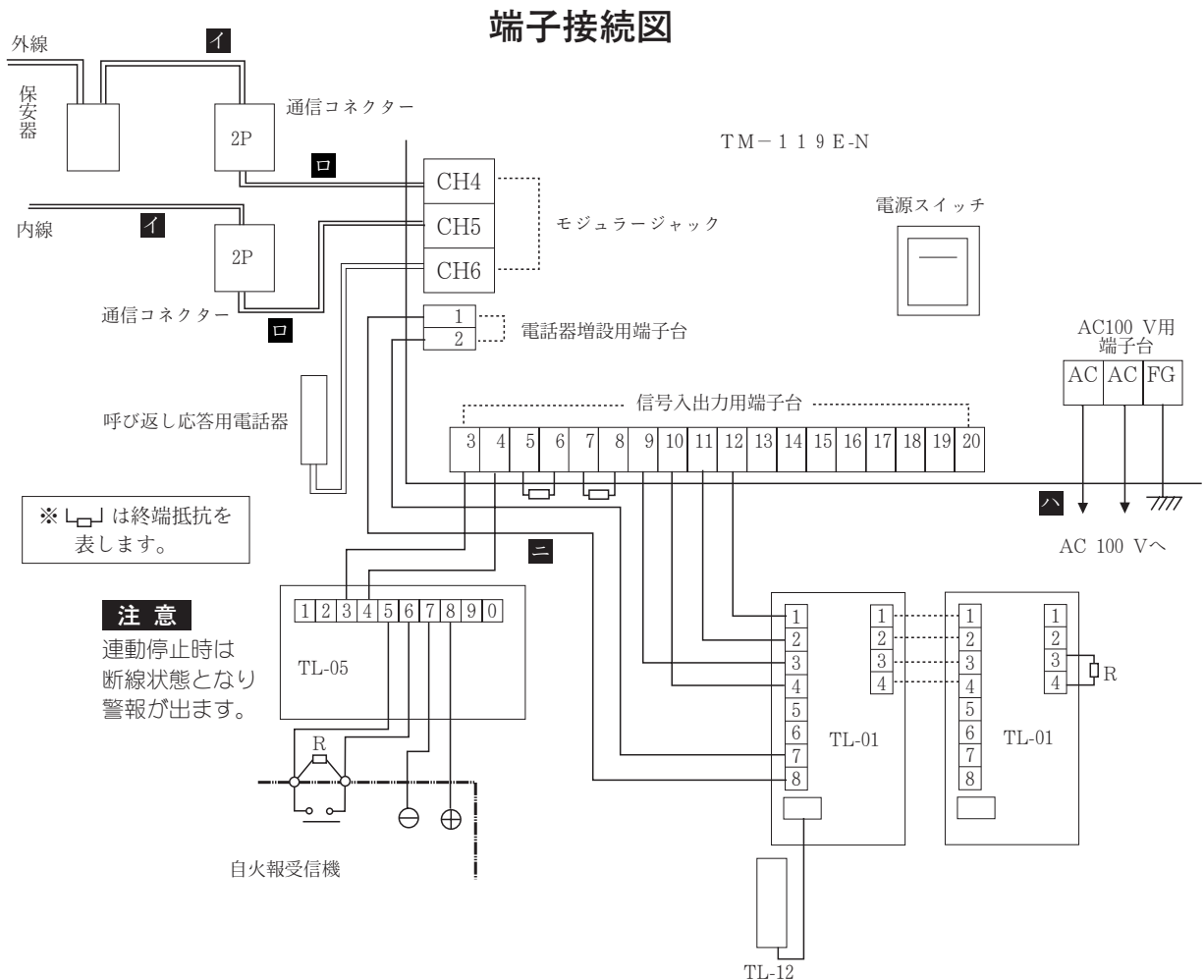
緊急用の装置の為、電源は必ず専用のコンセント又は専用のブレーカーから引き込んで下さい。

④ 外部入力 (遠隔起動装置・自動火災報知設備) の配線

必要に応じて遠隔起動装置 (TL-01:端子9.10.11.12)、自火報設備連動入力 (119通報有の場合、端子3.4:無しの場合、端子5.6) を接続して下さい。

注1) 自動火災報知設備と連動する場合には、受信機が蓄積型になっていること、又点検時の対策としては連動停止スイッチ箱が必要です。

注2) 小型の端子台ですが、φ2の導線まで接続できます。リード線の先端から約6mm被覆を取り除き、角穴に挿し込みΦドライバーでビスを締め付けて下さい。



9-5 【工事完了後の検査】

※電源投入前に先づ下記項目をチェックして下さい。(目視検査)

①各配線部のチェック

AC電源部、予備電源コネクタ一部、端子接続部、終端抵抗の有無他。

②電話回線接続部のチェック

モジュラープラグの差し込み状態、CH4（外線側）とCH5（電話器側）の再確認、逆に挿入されていても一般電話は使用可能ですが外部通報は出来ません。

※電源を入れて下さい。(本体電源スイッチON)

①全てのLEDが約1秒間点灯し、その後電源ランプ（緑色）のみ点灯、他は消灯します。

電源ランプが点滅している場合……予備電源による動作になっており
AC電源が入っておりません。

異常ランプが点滅している場合……画面に異常内容が表示されますので、
P.18の表に従い処置をして下さい。

②画面表示にメモリーエラー等の表示が出る場合がありますがこれは電源初投入で設定事項が未入力のためです。

リセットキーを押し各項目毎に入力していきます。(P.18)

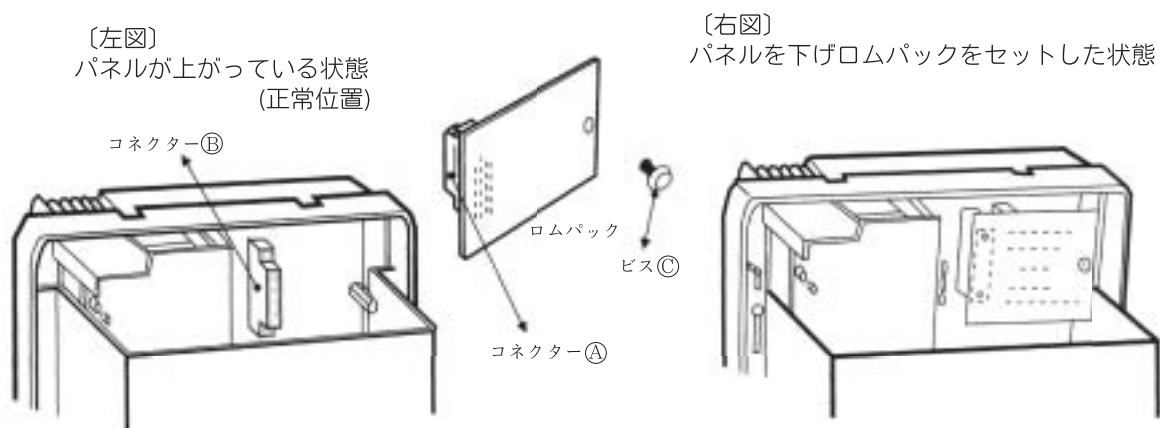
注意

本体取付工事を先行させROMパック未装着の場合は、ROMパックなしの表示と異常ランプが点滅しますが、13.基本入力操作（設定）は出来ます。(P.19)

10. 装着方法

【ロムパック・保護板の交換方法】

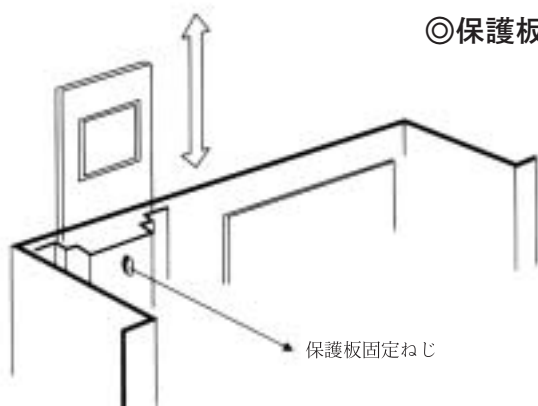
※ロムパックの交換方法



注意 ロムパックの脱着は電源スイッチがOFFになっている事を確認の上行って下さい。

- ① 表面パネルの取付けビス（4ヶ所）をゆるめ約15mmパネルを下げて下さい。
- ② コネクターA（ロムパック）を、コネクターBに挿入して下さい。
- ③ ロムパックが正しい位置にセットされているか確認しビスCで固定して下さい。
- ④ 表面パネルを元の位置（左図の状態）にもどして固定して下さい。

※保護板の交換方法



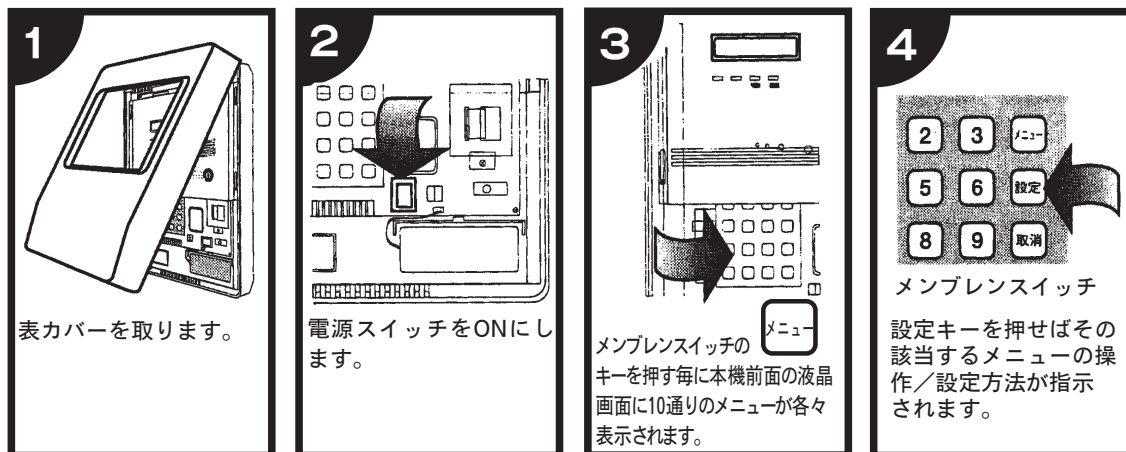
◎保護板の交換は表面パネルをはずさなくても出来ます。
[先づ電源スイッチをOFFにして下さい。]

- ① パネル固定ビスをゆるめ保護板を引き抜いて下さい。
- ② 保護板は押し割り部分が2連になっていますので上下逆にして元の位置にもどして固定して下さい。

注意 保護板には裏、表がありますが、切り込み部分を内側にして下さい。

11. 設定メニュー項目

初めに



設定メニュー項目

No.	液晶表示	設定内容
1	ヒヅケセッテイ	年、月、日、時刻の設定
2	カイセンシュベツ	ダイヤル回線、プッシュ回線の選択
3	ギャクシンシティ	119番からの逆信を受ける電話機の選択
4	シケンツウホウ	試験通報実施の有無
5	TELトウロク	任意通報先電話番号（最大9ヶ所）の登録、ポケベル含
6	ポケベルメッセージ	本体設置場所の電話番号の登録
7	テイキテストツウホウ	定期テスト通報実施の有無、周期等を設定
8	メッセージモニター	手動起動及び、自火報起動時のメッセージモニター
9	TELカイセンチェック	電話回線の異常を、24時間毎にチェック（YES設定持）
10	リレキカクニン	各入力毎の最終入力日時（履歴）を表示

設定項目の説明

1. ヒヅケセッテイ (日付設定)

年、月、日、時刻を設定、定期テスト通報や、履歴の確認時に必要です。
西暦2090年迄のカレンダーが組み込まれていますので閏年時の変更は不要です。

2. カイセンシュベツ (回線種別)

本体接続の電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を選択します。
ダイヤル回線は 20P プッシュ回線は トーン に設定して下さい。

3. ギャクシンシテイ (逆信指定)

119番通報時、消防署からの逆信（呼び返し）を一般電話機で受けるか否かの設定をします。一般電話機でも受信する場合は CH5.6 側にカーソルを設定します。

4. シケンツウホウ (試験通報)

試験通報先に登録した電話番号に、119番通報時と同一条件（極性反転検出無し）で通報し正常動作の確認を行います。実施後は必ず NO側 試験通報解除（119番通報あり）に設定して下さい。

5. TELトウロク (TEL登録)

最大9ヶ所の任意通報先電話番号を登録します。携帯電話、ポケベルへの登録も可能です。一般電話、携帯電話への登録は、TEL側、ポケベルへの登録は、BELL側に設定して下さい。

6. ポケベルメッセージ

ポケベルを任意通報先に登録する場合は、ポケベルメッセージとして本体設置場所の電話番号を入力します。これにより、火災通報をポケベルにて受信した場合、端末画面に発報元の電話番号と入力番号が表示されますので、火災発生場所とその内容が確認出来ます。

7. テイキテストツウホウ (定期テスト通報)

登録された通報先（1ヶ所）に定期的にテスト通報を実施します。（YES設定時）月1回、週1回、隔週1回、の周期設定と実施日時を入力します。

8. メッセージモニター

手動起動時及び、自火報起動時に消防署に通報する内容と同一のメッセージを各々、本体より再生モニターし確認出来ます。メッセージ送出迄には数秒間かかります。

9. TELカイセンチェック (TEL回線チェック)

本体接続の電話回線の異常（断線、接続個所の接触不良等）を1日1回、設定された時間に自動的にチェックをします。（YES設定時）チェック時間は数秒間です。
但し、電話使用中 チェック時刻になりますと、その時点で回線を解放し通話が切れてしまいますので、チェック時刻は電話使用頻度の少ない時間帯（深夜、早朝）に設定して下さい。、NO側に設定しますとチェックしません。

※チェック時においても火災発生時の通報が優先されますので、緊急時に支障を来す恐れはありません。

10. リレキカクニン (履歴確認)

各々入力毎の最終信号入力日時の履歴を記憶します。No1～No4の端子入力その他、NO5.手動起動入力断線、停電、異常情報の入力履歴も自動的にメモリーされます。
画面表示させる場合は、YES側にカーソル移動し設定キーを押します。

12. 自己メンテナンス機能

本機は雷等、外乱ノイズによるデータ消去や設定時の入力ミス、又、配線周りの断線、接続不良等、様々な異常を常時監視する自己メンテナンス機能を備えています。

異常発生時にはその内容が画面表示され、更にアラームや音声でまわりに知らせます。

異常が発生しましたら下表にしたがい適切な処置を速やかに行ってください。

異常時の画面表示とその処置

表 示	異 常 内 容	処 置
ニチジエラー	日付、時刻の異常	データ再設定
ツウホウサキエラー	通報先電話番号（定期テスト通報、試験通報先を含む）の消去	〃
メンテナンスエラー	定期テスト通報設定内容（指定日時）の消去、異常	〃
システムエラー	初期設定項目（回線種別・逆信指定等の異常）	〃
メモリーエラー	初期設定時全データの消去	〃
ロムパックエラー	ロムパック（蓄積音声IC）の異常	ロムパックの交換
ロムパックナシ	ロムパックの未装着又は装着不良	ロムパックの装着確認
アナログキバンナシ	アナログ基板（音声制御基板）未装着	アナログ基板の装着確認
オンセイICエラー	音声出力ICの異常	メイン基板の交換
ダンセンケンチ	信号入力線の断線又は、接触不良	信号入力線及び、終端抵抗の点検
テイデンケンチ	一定時間以上の停電又は、AC電源入力部の接触不良	AC電源入力部の点検 リセットS/Wで表示解除
TELカイセンダンセン	電話回線の断線、又は、接続部の接触不良（設定時1日1回のチェック）	電話回線 接続部の点検
バッテリーエラー	予備電源（バッテリー）の電圧低下（1ヶ月に2回のチェック）	バッテリーの交換 電源再投入後リセットS/Wで表示解除

- 注意**
- ・電源初投入時に“メモリーエラー”が表示される場合もあります。
 - ・再設定、再入力された場合は必ず、リセットキーを押し日付表示に戻して下さい。

異常時の動作表示 異常時には各々下記の状態で確認できます。

	画面表示	LED表示	音声表示	リレキメモリー
信号入力	●	—	—	●
ダンセンケンチ	●	●	●	●
TELカイセンダンセン	●	●	●	—
テイデンケンチ	●	—	●	●
バッテリーエラー	●	●	●	—
その他のエラー	●	△	△	—

表示説明

- ・画面表示……………LCD表示面にカタカナ表示
- ・LED表示……………LED異常ランプの点滅（黄色）
- ・音声表示……………「ピピピ、ピピピ、異常が発生しました」（30秒に1回表示）

- 印 表示有り
- △ 印 一部表示有り
- 印 表示無し

注意

※上記の異常で再設定・再点検をした場合は、必ず試験通報等を行い正常動作を確認して下さい。

13. 基本入力操作

各々の設定はメンブレンスイッチより入力します。

電源スイッチをONにし項目 ■1.日付設定■ より順次入力して下さい。(P.20)

キー説明

メニューキー

メニュー（タイトル）を表示させる時使用します。続けてプッシュしますと、1～10の指定メニューのタイトル部のみを画面表示します。

※ダイレクト呼び出し機能を使い直接、希望する、タイトル部を呼び出す事が出来ます。

設定キー

選択した内容を確定する時使用します。このボタンを押し確認しますと自動的に次の項目に表示が切りかわります。

取消キー

電話番号登録時の入力ミスや、画面表示された入力履歴情報の消去時に使用します。

リセットキー

メニューを最初に戻す時に使います。このキーをプッシュしますと設定中の動作を中断し、元の日付表示に戻ります。

左右移動カーソルキー

移動カーソルキーにてカーソル *・_ を設定項目の左側に合わせ確定します。

右移動カーソルキーは電話番号消去時や変更時にも使用します。(5. TEL登録の項目参照)



メンブレンスイッチ

ダイレクト呼び出し機能

10項目のタイトルをダイレクトに呼び出す機能。


◎呼び出し方法

[5] TEL トウロク

を呼び出す場合



をプッシュする。但し、直前の操

作で  が押されている場合は

  のみでよい。

1. 日付設定 (現在日時を入力、日付・時刻を常時表示)

設定例	[1] ヒツケセッテイ	設定
2010年	ネン 2 0 1 0	2 0 1 0 設定
1月25日	月日 0 1 月 2 5 日	0 1 設定 2 5 設定
15時10分	ジコク 1 5 : 1 0	1 5 設定 1 0 設定

[01/25 15:10] と表示
西暦年数は表示されません。

2. 回線種別 (電話回線のプッシュ・ダイヤルを選択)

設定例	[2] カイセンシュベツ	設定
ダイヤル回線	カイセン 10P * 20P トーン	設定
プッシュ回線	カイセン 10P 20P * トーン	設定

3. 逆信指定 (119番からの逆信を受ける電話器の選択)

設定例	[3] ギャクシンシテイ	設定
CH6 (呼び返し応答用電話器)のみ逆信を受ける。	ツウワキシテイ CH5・6 * CH6	設定
一般使用電話器と呼び返し応答用電話器双方で逆信を受ける。	ツウワキシテイ * CH5・6 CH6	設定

4. 試験通報 (試験通報先を設定し、119番通報時と同様のテストを実施)

設定例	[4] シケンツウホウ	設定
通報先を3446-5678に設定し試験通報を行う。	1:シケンツウホウ * YES NO	設定 試験通報ナシは * NO
注意 試験通報終了後は必ずNO側に設定し解除して下さい。 解除になるまでシケンツウホウの文字は画面表示されたままです。	2:ツウホウサキ 3 4 4 6 5 6 7 8	3 4 4 6 ~ 8 設定

5. TEL登録（任意通報先の電話番号を登録）

（最大9ヶ所まで登録出来ます）

[5] TELトウロク 設定

設定例

任意通報先電話番号（第1通報先）
を3446-2345に登録

1 : 3 4 4 6 2 3 4 5 3 4 4 6 ~ 4 5 設定

* TEL BELL 設定

任意通報先電話番号（第8通報先）
を3447-1234•ポケベルに登録

8 : 3 4 4 7 1 2 3 4 3 4 4 7 ~ 3 4 設定

TEL * BELL # 設定

※電話番号の消去

カーソルが左端(文頭)にある事を確認した後、# 移動キーを押します。数字が消去されますので 設定 キーにて消去を確定します。

※電話番号の変更

既に登録されている番号の上に重ねて入力し 設定 キーにて新番号を確定して下さい。

入力桁数が少なく後尾の数字が余っている場合は # を押しますとカーソル以降の数字が消去されます。

その後 設定 キーで確定します。

注意

任意通報先は最大9ヶ所迄登録出来ますが、ポケベル通報を行う場合はなるべく後位（第7通報以降）に登録して下さい。又、ポケベル通報をしない場合は、次項のポケベルメッセージの登録は不要です。

6. ポケベルメッセージ（ポケベル通報時の発信元（電話番号）登録）

[6] ポケベルメッセージ 設定

〔初期設定〕
出荷時 4949（至急至急）
と入力されてます。

[6] ポケベルメッセージ
4 9 4 9

設定例

通報元の認識番号。
機器設置場所の電話番号を
入力します。

[6] ポケベルメッセージ
3 4 5 6 7 8 9 0 3 4 5 ~ 9 0 設定

注意

- ポケベルメッセージは前項のTEL登録時、BELL 側に設定した時のみ入力して下さい。
- ポケベルメッセージはセンター着信後15秒間経過した後に送じます。

7. 定期テスト通報（電話回線と本体の定期的なチェック）

設定例

毎月30日の午後7時、
通報先番号 334-098
7に定期テスト通報
を実施

[7] テイキテストツウホウ	設定
1 : テイキテストツウホウ * <u>YES</u> NO	設定 定期テスト通報ナシは * NO
2 : ツウホウサキ 3 3 4 0 9 8 7	3 3 4 ~ 8 7 設定
3 : カンカク * 月 1 カクシュウ シュウ 1	設定
4 : ヒツケヨウビ <u>3</u> 0	設定
5 : ジコクノセツテイ <u>1</u> 9 : 0 0	1 9 設定 0 0 設定

8. メッセージモニター（通報メッセージの内容確認）

設定例

手動起動時のメッセ
ージモニターを行う

[8] メッセージモニター	設定
[8] メッセージモニター * <u>YES</u> NO	設定 メッセージモニターナシは * NO
[8] メッセージモニター * <u>ジュドウ</u> ジカホウ	設定

数秒後にメッセージ送出

[例] 手動起動時のメッセージ送出

「(119ダイヤル音) ピッピッピッ ピッピッピッ 火事です。火事です。
こちらは〇〇の〇〇です逆信願います。」

9. TEL回線チェック（電話回線の断線等 異常を24時間毎にチェック）

	[9] TELカイセンチェック	設定
設定例 電話回線のチェックを毎日午前3時に実施する	TELカイセンチェック * YES NO	設定 回線チェックナシは * NO
	2 : ジコクノセッテイ 0 3 : 0 0	0 3 設定 0 0 設定

注意

チェック時刻になりますと回線を解放し数秒間チェックしますので、通話中の電話は切れてしまいます。但し、火災発生時の火災通報は最優先されますのでチェックは中止されます。

10. 履歴確認（信号入力・断線探知・停電検知の発生時刻等が自動的にメモリーされます）

	[10] リレキカクニン	設定
設定例 入力履歴情報を表示させる	[10] リレキカクニン * YES NO	設定 履歴表示ナシは * NO
表示内容 1月30日午後1時50分 自火報入力アリ (IN1入力)	ニュウリョクリレキ [1] [01/30 13:50]	設定 次の履歴表示に移行
表示内容 2月15日午後10時10分 1N3入力ラインに 断線アリ	ダンセン リレキ [3] [2/15 22:10]	メモリーされた情報は リセット キーでは消去されません。

※入力履歴情報の消去

メモリー消去したい部分を画面に表示させ **取消** キーを押します。画面表示がなくなり消去されますが、別入力が記入されている場合は、新たな表示に切り換わります。同じく消去する時は再度 **取消** キーを押します。

14. 通報試験

14-1 【疑似回線で行う場合】

火災通報装置専用試験装置（財日本消防設備安全センターにおいて認定されたもの）を使用し、下記の操作、確認を行って下さい。

- ① 本体（TM-119E-N）のモジュージャック（CH4）に接続された回線を外し、CH4と専用試験装置を接続して下さい。
- ② 本体及び、専用試験器の電源をONにし、待機状態になっている事を確認して下さい。（電源灯だけが、点灯しています。）
- ③ 手動起動装置を押す。（約0.2秒以上）起動灯の点滅を確認して下さい。（試験時は、保護板固定ネジを緩め、保護板を外してから行って下さい。）
- ④ 呼び出し開始。（専用試験装置に119が表示され、119番用電話器が鳴動します。）
- ⑤ 119番用電話器の受話器を上げ、手動起動時のメッセージ送出手確認して下さい。（通報灯が点滅します。）
- ⑥ 「送信願います。」のメッセージ確認後、専用試験機の逆信スイッチを入れ、呼び返し応答用電話器の鳴動を確認して下さい。
- ⑦ 呼び返し応答用電話器を取り上げ、119番用電話器と会話出来る事を確認して下さい。
- ⑧ 双方とも受話器を戻して下さい。
- ⑨ 通報灯が点滅から点灯に変わり、任意通報動作に移ります。
- ⑩ 登録先の1番から順に通報を開始し登録先全ての通報が完了すると、起動灯が点滅から点灯に変わります。

※③～⑩の動作はP.7、8の動作順序、P.9、10のフローチャートを御覧下さい。

途中でテストを中断する場合は、パネル面のリセットスイッチを押し初期状態にもどして下さい。

確認事項

通報試験が終了しましたら、必ずパネル面のリセットスイッチを押し、下記項目をチェックして下さい。

- ① 保護板を元の状態にセットして下さい。
- ② 電源灯だけが点灯していることを確認して下さい。
- ③ ロムパック、終端抵抗器、バッテリーの取り付け状態を確認して下さい。






14-2 【本回線で行う場合】試験通報

試験通報モードに設定し、起動をかけると119番を想定した試験通報先を呼出し、119番通報と同様のテストを行う事が出来ます。

但し、119番に通報しませんので逆信の操作は出来ません。

この場合、通常のメッセージの前に「試験通報」のメッセージが流れます。




操 作

- ①    で設定項目  を呼び出し、 *YES に設定し通報先を登録。
- ②  キーを押し時刻表示に戻す。
この時、画面下段には [4] シケンツウホウの 文字が表示されたままになりますが、これは解除忘れを防止するためです。
- ③ 手動起動装置のスイッチを押す。(約0.2秒以上)
- ④ 呼び出し開始 (試験通報先)
- ⑤ 試験通報先の受話器を上げる。(メッセージ送出手確認)
〔この場合逆信は出来ませんので、メッセージ送出手中に本体側受話器 (呼び返し応答用電話器) を上げ約10秒間以上相手と会話して下さい。〕
- ⑥ 双方共、受話器をもどす。
- ⑦ 任意通報に移行。
P.8の動作順序P.10のフローチャートを御覧下さい。
- ⑧ 任意通報先を呼出し。
- ⑨ 任意通報先の受話器を上げる。(メッセージ送出手確認)
- ⑩ 集音マイク、拡声スピーカーの動作を確認 (交互通話)
- ⑪ 本体側受話器を上げ、通報先と会話。
- ⑫ 双方共、受話器を戻す。(次の通報先を呼出し)

以下順次登録先を呼出し③～⑫の動作を繰り返します。通話先が留守もしくは話中にて不応答の場合は、次の通報先に移行し一連の動作終了後再び不応答先を呼び出します。この場合登録先が全て応答する迄、再呼出しを繰り返します。(この間、起動灯は点滅中ですが終了すると点灯に変わります。

確認事項

通報試験が終了しましたら、下記項目をチェックし待機状態にして下さい。

- ①    の操作をし *NO に設定し シケンツウホウを解除して下さい。
- ② 保護板を点検。
- ③ 各表示ランプの確認 (電源灯のみ点灯)
- ④ 画面表示が待機状態になっているかどうか確認 (日・時表示のみ)

15. 操作方法・点検方法

操作方法

火災を発見した場合、本体もしくはTL-01（遠隔起動装置）の起動用保護板を押し割って手動起動装置のスイッチを押して下さい。

数秒後、119番通報を開始しメッセージを送出します。消防署から逆信（呼び返し）が入りますので、呼び返し応答用電話器にて応答して下さい。

※回線使用時（話中）に起動をかけた場合でも、割込み機能が働きますので優先的に119番に通報します。但し、任意通報に移行後は使用中の割込みは出来ません。

応答後は必ず呼び返し応答用電話器の受話器をもとにもどして下さい。その後任意通報先の呼出しを開始します。

点検方法

(1) 点検の種類

点検は外観点検と、総合・機能点検に分けて実施するものとする。

ア. 外観点検

火災通報装置の機器の適正な配置、損傷等の有無その他主として外観から判断できる事項について確認を行うこと。

イ. 総合・機能点検

火災通報装置の機器の機能について、簡単な操作または全部もしくは一部を作動させ、その機能について確認を行うこと。

(2) 点検の期間

点検の期間はおおむね次のとおりとする。

ア. 外観点検 3 ヶ月に1回以上

イ. 総合・機能点検 1年に1回以上

(3) 点検実施者

点検実施者は、消防設備士の資格が必要です。

(4) 点検結果

点検結果については、消防機関に届ける必要があります。

(5) 点検実施時の注意事項

点検を実施する際には事前に十分な打合せを行い、関係各所への連絡を徹底してください。

16. 点検要領

ア. 外観点検

項 目	点 検 方 法	判 別 方 法
1) 手動起動装置等	a 周囲に使用上の障害となるものがないかどうか確認する。 b 変形、腐食、手動起動装置等の保護板等に損傷がないか確認する。	a 使用上の障害となる物がないこと。 b 変形、脱落、著しい腐食、保護板等に損傷がないこと。
2) 装 置 本 体	常用電源の監視装置（ランプ等）が正常であるかどうか確認する。	監視装置（ランプ等）が、正常であること。
3) 予 備 電 源	外観及び内蔵電池の製造年月日を確認する。	a 損傷、腐食等がなく正常であること。 b 蓄電池を使用しているものにあつては製造年月日が3年以内のものであること。
4) 発報確認ランプ	変形、損傷等がないかどうか確認。	変形、損傷、脱落等がないこと。
5) 接 地	腐食、断線がないか、目視により確認する。	著しい腐食、断線等がないこと。
6) 表 示	取扱説明、その他必要な事項の表示が適正にされているかどうか確認する。	取扱説明、その他の表示の汚損、不鮮明な部分がないこと。

イ. 総合・機能点検

項 目	点 検 方 法	判 別 方 法
1) 手動起動装置等	局線を捕捉しない状態で、手動起動装置等 operates、各項目が確実に作動するかどうかを確認する。	非常通報装置が起動し、試験のための通報が自動的に開始されること。
2) 送出信号モニタ		電話回線に選択信号を送出中である旨の信号音をスピーカーでモニタできること。
3) 発報の確認		発報した旨の表示がなされていること。
4) 音声情報のモニタ		予め装置に記憶させておいた音声情報がモニタ用スピーカーで明確に聞き取れること。
5) 自動再呼出し		再呼出音をモニタで確認する。
6) 予備電源	a 内蔵バッテリーを取り出し、電圧計等により確認すること。 b 本機に保給している商用電源をOFF・ON（専用ブレーカをOFF・ON）することにより、動作を確認する。	a 電圧計等の指示が適正であること。 b 自動的に予備電源に切り替わり、常用電源を復旧したとき、自動的に常用電源に切り替わること。
7) 通話機能への切替	消防機関の了解がとれれば電話回線を使用、又はこれに代わる装置を使用して各項目が確実に作動するかどうか確認すること。	蓄積音声情報を送出中に電話回線が送受話器側に切り替わること。
8) 呼び返し、応答		a 呼び返し受信機能が正常であること。 b 呼び返しに対し、応答及び通話が正常にできる。
9) 回線の捕捉	回線を使用状態にした後、手動起動装置等 operates、本機が局線を捕捉するか確認する。	電話回線に選択信号を送出し通報を自動的に開始すること。
10) 自動火災報知設備と連動、非連動切替機能	連動停止スイッチを連動中又は、非連動にした状態で自動火災報知設備を作動させる。	a 連動のとき自動火災報知設備の作動により、本機が作動すること。 b 非連動のとき自動火災報知設備の作動により、本機が作動しないこと。
11) 任意通報の機能	119番への通報完了後、任意通報先へ順次通報するかどうか確認する。	通報灯が点灯し、第一順位から順次通報すること。

仕様

1. 品名
2. 型式
3. 型番
4. 認定番号
5. 通話回数
6. 通報先記憶数
7. 通報順序
8. メッセージ内容

火災通報装置

TM-119E-N

火通一 号 (日本消防設備安全センター)

A08-0139004 (端末機器技術基準適合認定)

一般加入電話回線 (ダイヤル/プッシュ)

119番も含めて最大10ヶ所

119番 → 任意第一 → 任意第二 → ……任意第九

(ア) 手動起動装置 (非常押しボタン) の操作により作動した場合

「ビビビ、ビビビ、火事です、火事です、こちらは……」

の……です。逆信願います」

(イ) 自動火災報知設備の作動と連動して自動的に作動した場合

「ピンポン、ピンポン、自動火災報知設備が作動しました、こちらは……の……です。逆信願います」

最大20秒

9. ユーザー別通報メッセージ
10. 選択信号
11. 外部入力

1) 10PPS又は20PPSのダイヤルパルス

2) 押しボタンダイヤル信号

・清濁起動装置

・自動火災報知設備の受信機移報端子 (無電圧メータ接点)

・任意通報専用 (無電圧メータ接点)

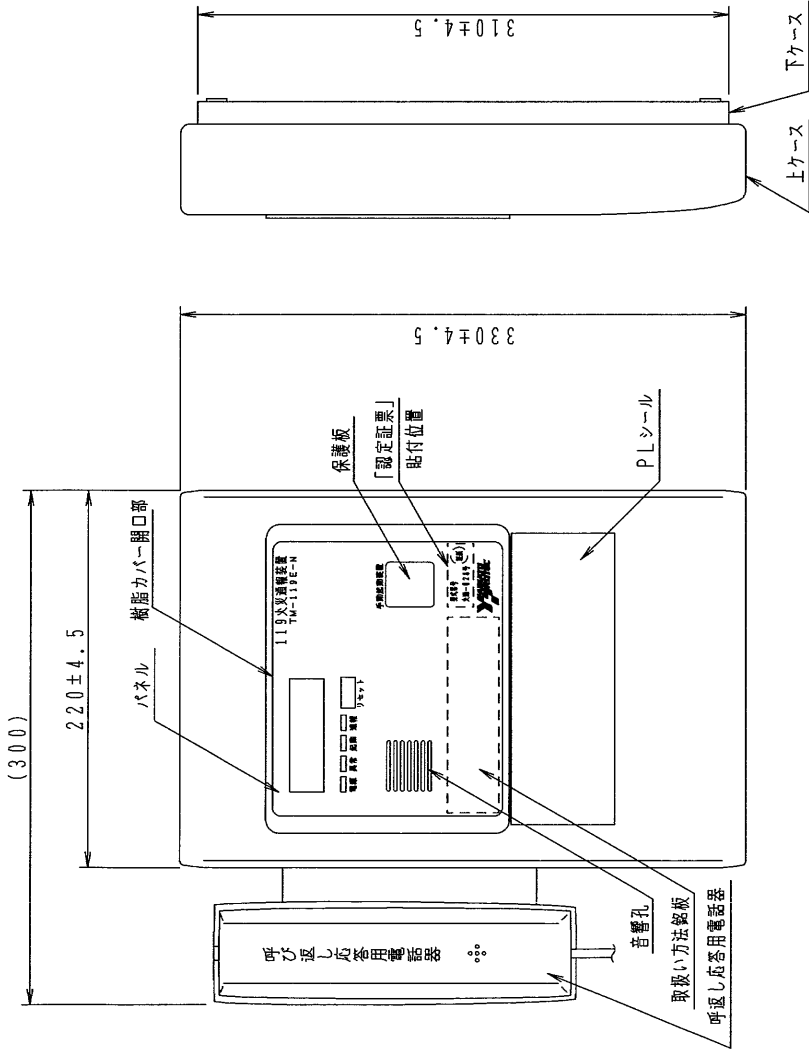
電圧 0~40V 湿度 20~90%

AC100V±10V 50Hz/60Hz 消費電力: 待機時2.1W 動作時3.0W

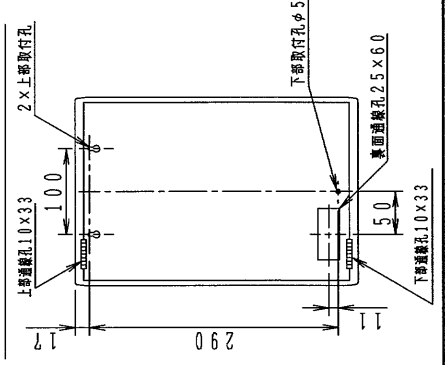
ニッケル・カドミウム蓄電池 12V500mAh

高さ: 330mm、幅: 220mm、奥行: 70mm、重量: 3.1Kg

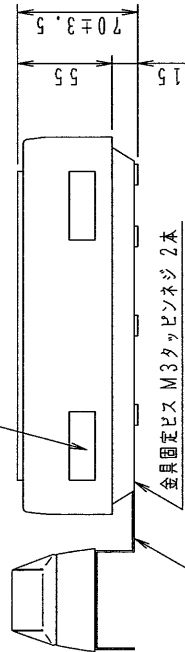
(注1) 保護板は、自動火災報知設備技術上の規格を定める省令322条 (発信機) に準ずる。



通線孔及び取付孔寸法図 (正面図)



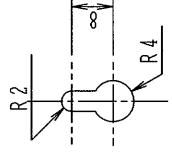
端末機器・認定マーク付紙版



金具固定ビス M3タクトピンネジ 2本

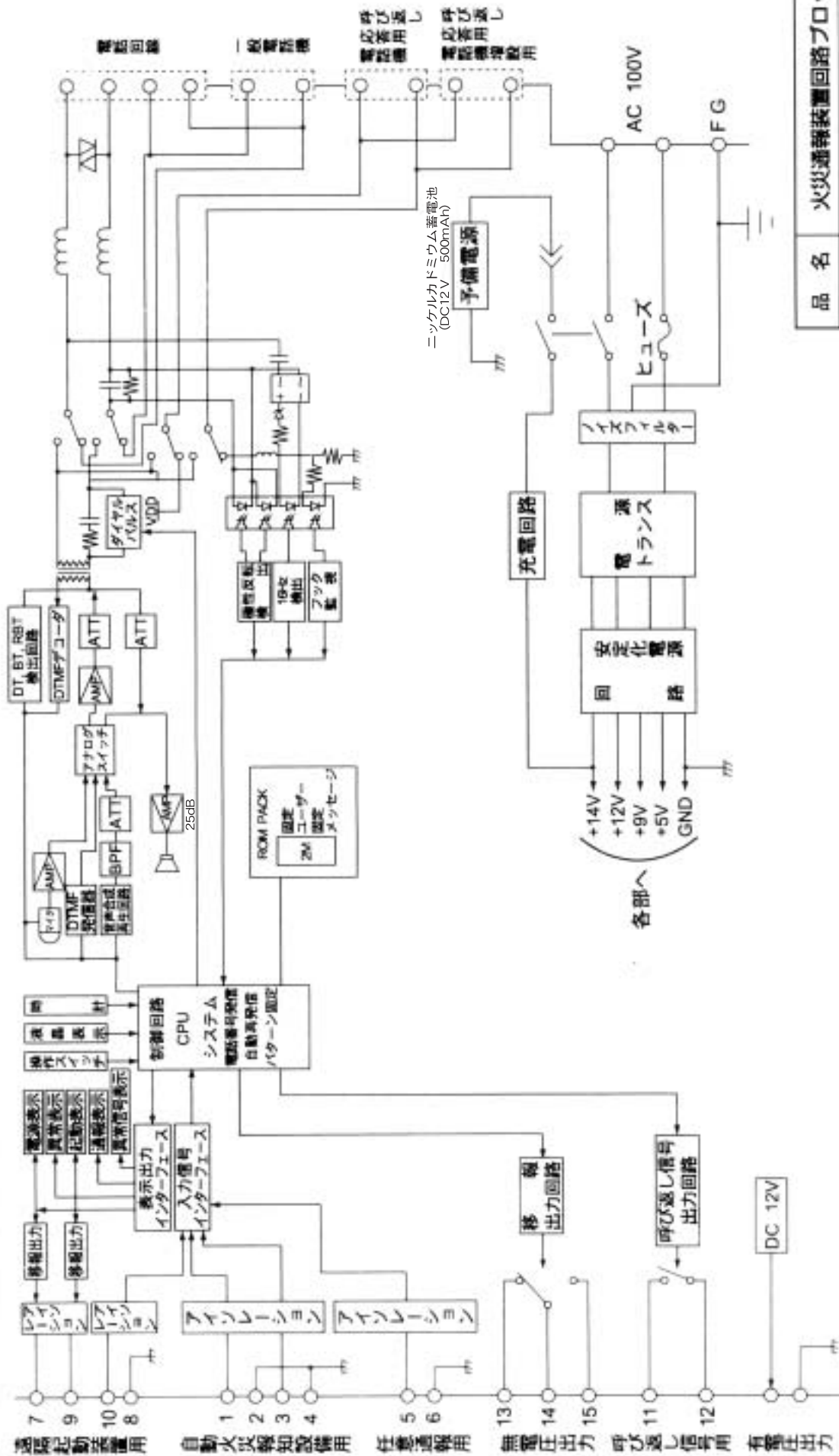
呼返し応答用電話器取付金具

上部取付孔寸法図



品名	火災通報装置
型名	TM-119E-N
図番	FA-00015-3
承認	検図 製図 年月
	(高) (山) 2008.6

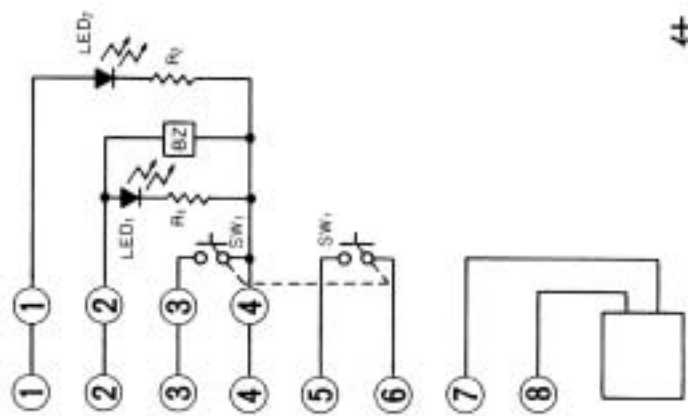
アマトロテック株式会社



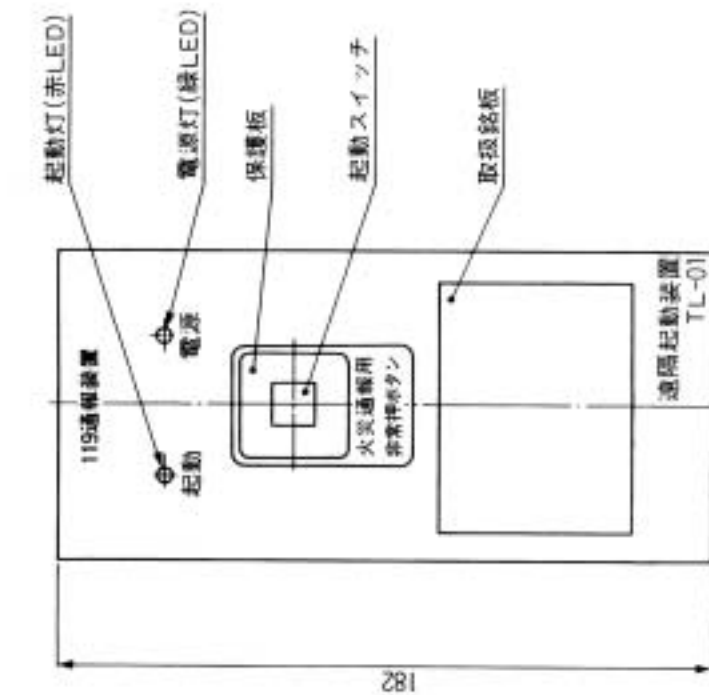
品名	火災通報装置回路ブロック図		
型名	(TM-119E-N)		
図番	FA-00016		
承認	検図	製図	年月
	中	田	1998.1

アマトプロテック株式会社

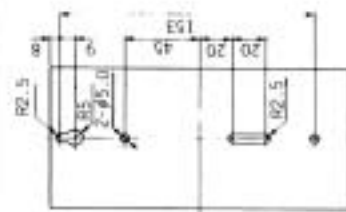
回路図



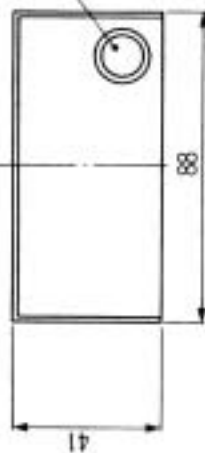
モジュージャック
(呼び出し応答用電話機増設用)



取付孔寸法図(正面図)



通線孔
(上下各1箇所)



記号	名	称
SW ₁	非常押ボタン	
LED ₁	起動灯(赤)	
LED ₂	電源灯(緑)	
R ₁	固定抵抗器	
R ₂	固定抵抗器	
BZ	ブザー	

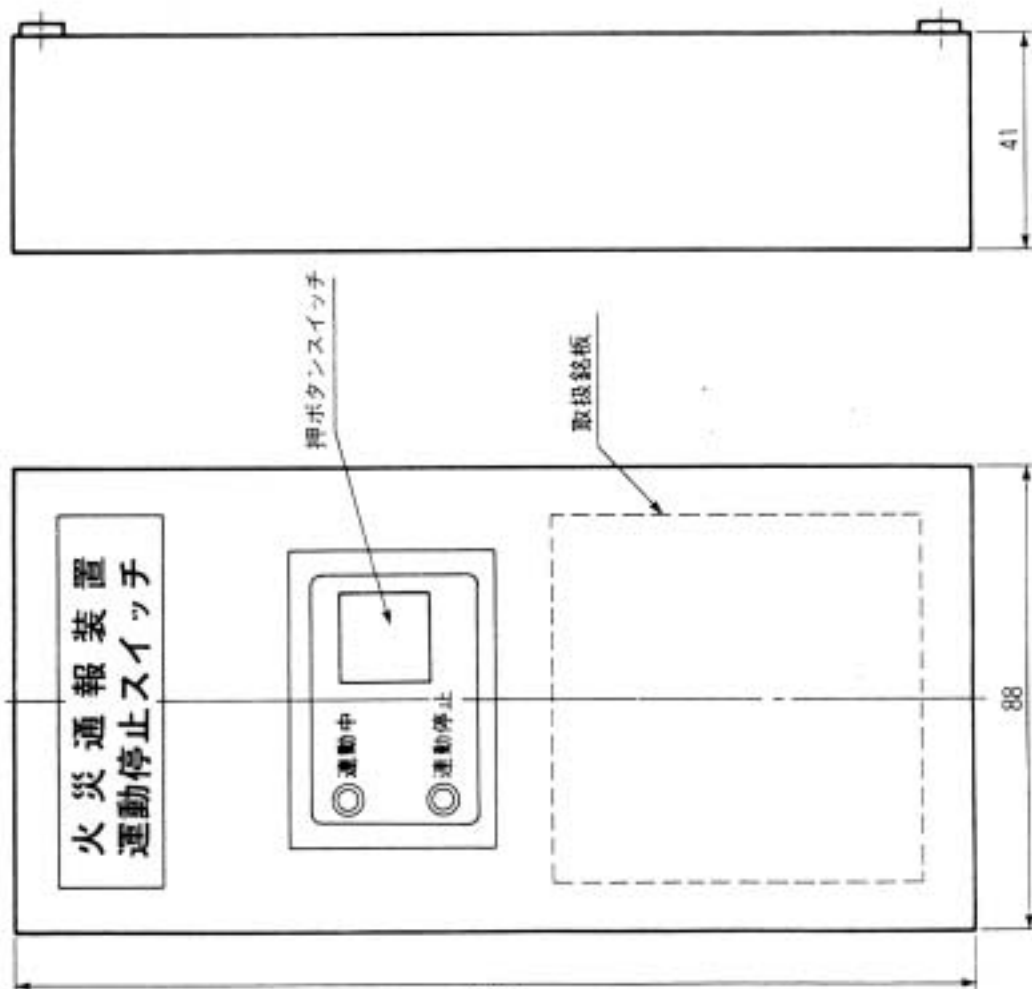
仕様

- 品名 遠隔起動装置
- 型名 TL-01
- 定格電圧 DC12(V)
- 使用周囲温度 0~40℃
- 箱体 SPCC t=1

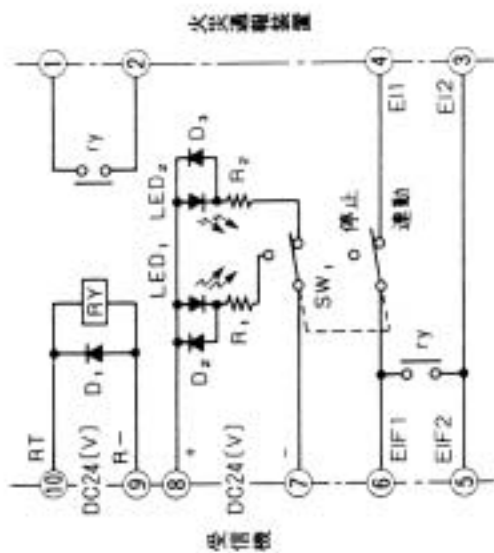
品名	火災通報装置用 遠隔起動装置		
型名	TL-01		
図番	TE-0004		
承認	検図	製図	年月
	(印)	(印)	1998.1

アマテック株式会社

取付孔寸法図(正面図)



回路図



記号	名称
RY	リレー 24(V) 接点容量 0.5~1(A)
D _{1,2,3}	保護用ダイオード
SW ₁	キースイッチ
R _{1,2}	抵抗器
LED ₁	運動停止表示灯(赤)
LED ₂	運動中表示灯(緑)

仕様

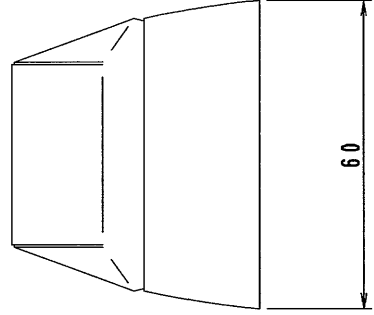
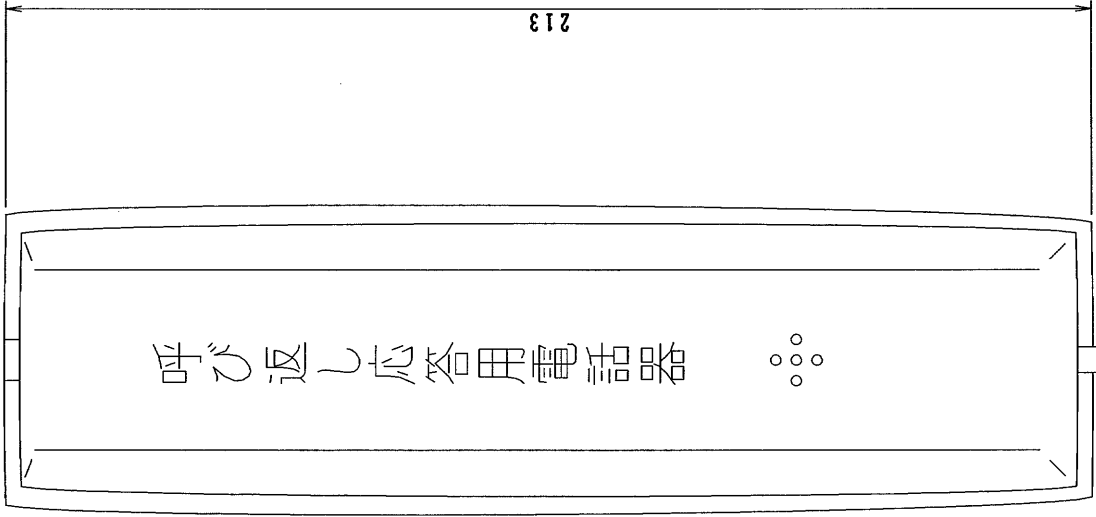
- 名称 火災通報装置用
自動火災報知設備
運動停止スイッチ箱
- 型名 TL-05
- 種認番号 91-S01-002
- 定格電圧 DC24(V)
- 使用温度 0~40℃
- 箱体 SPCC t=1

品名	火災通報装置用運動停止スイッチ箱		
型名	TL-05		
図番	TE-0005A		
承認	検図	製図	年月
	(注)	(中)	1998.1

アマトスロテック株式会社

仕様

- 1. 名称 呼び返し応答用電話器
- 2. 型式 TL-12
- 3. 方式 一対一、動電形受話器、ECM
- 4. 方法 スピークコネクタ
- 5. 接続 60W×213D×50H
- 6. 外形寸法 0.28kg



品名	呼び返し応答用電話器		
型名	TL-12		
図番	TE-006B		
承認	検図	製図	年月
(前)	(調)	(山)	2007.3
アマプロテック株式会社			